社会に貢献する診療放射線技師を応援します

日本診療放射線技師会は昭和 22 年に日本放射線技師会として設立されてから、国民の医療福祉発展のために事業展開を行い社会に貢献して参りました。

ご存知のように、現代の医療では画像検査や放射線治療はなくてはならないものであり、診療放射線技師は、ますます重要な役割を果たす事が求められています。

社会の要請に応え、業務拡大や診療用放射線の安全利用等の法令改正に対応した事業も数多く行っています。関連の団体と連携し、放射線診療全体の発展を目指すことで将来に渡っても社会貢献できる組織として活動しています。

皆様の入会をお待ちしております。

公益社団法人
日本診療放射線技師会
会長
上田　克彦
President　UEDA Katsuhiko

このマークは垂直磁界内におけるα、β、γ線の偏向飛程をイメージしています。シンボルマーク中央から左側に伸びる花はプラス電荷を帯びたα線（陽子2個と中性子2個）を、反対側に伸びるつぼみはマイナスの電荷を帯びたβ線を、マーク中央を縦に走るラインは電荷を持たないγ線をイメージして図案化しています。

技師籍登録初年度会費がとってもお得です!

診療放射線技師免許取得年度にご入会されますと、入会金と初年度会費が無料になります。

入会金5,000円 + 初年度会費14,000円
合計19,000円が

技師免許取得年度に入会すると

無料です

（2年目以降に入会されますと通常の入会金と年会費が必要になります）
＊別途、都道府県技師会入会金･年会費が必要になります＊

入会のお申し込み

入会方法は 2 通り。1 回の手続きで日本診療放射線技師会と都道府県技師会の入会手続きができます。

インターネットでのお申込み
↓
JART情報システムへの利用者登録手続き
↓
JART情報システムにログインし入会手続き

インターネットを利用しない場合
↓
入会申込書をダウンロードして記入
↓
都道府県（診療）放射線技師会へ提出

↓
都道府県（診療）放射線技師会への入会手続き
↓
入会金･年会費の払込票が郵送されます

ご入会申し込み･お問い合わせは

公益社団法人**日本診療放射線技師会**

日本診療放射線技師会 または JART　検索

日本診療放射線技師会HP

入会申し込み

入会のご案内

今こそ
一歩踏み出すとき
共に築く未来

公益社団法人**日本診療放射線技師会**
The Japan Association of Radiological Technologists

入会のメリット

1. 診療放射線技師保険への全員加入
2. JART Plus(会員無料コンテンツ)の利用・閲覧
3. 会誌の購読・web閲覧
4. オンデマンド講習の受講が無料
5. ラダー方式の新生涯教育システム
6. 会員価格で学術大会に参加

安心を支えます!!

すべての会員に診療放射線技師賠償責任保険が付保されます。
また、希望に応じてさらに手厚い保証のある任意保険へも会員価格で加入できます。もちろん新たな業務拡大にも対応しており、業務中の事故から会員自身が補償される安心を得られます。無料で弁護士などの専門家に相談することができます。

JART Plus（会員限定無料コンテンツ）

日本診療放射線技師会の会員情報システム（JARTIS）に入ると、トップページ画面上部に配置されています。無料のコンテンツをご利用いただけます（別途登録必要なコンテンツがあります）。

- 会誌電子ブック（e-book システム）
- JART アーカイブ（創刊号からの過去会誌閲覧）
- STAT 画像所見報告に関する学習システム
- 教育用セミナー（JIRA コンテンツ）
- 生活応援フェア＋（ぷらす）（会員限定生活用品特価販売サイト）

最新情報をお届けします!!

日本診療放射線技師会誌
「JART」

「日本診療放射線技師会 会誌JART」が毎月お手元に届きます。

また、Webサイトでは、最新情報、ニュース**「Network Now」**を掲載しております。

Network Now

日本診療放射線技師会HP

スキルアップを応援します!!

診療放射線技師として、私達は最新技術の習得や多くの領域の最新医療・技術について生涯学習のため、新人教育からスペシャリストまでの専門的な知識を学ぶクリニカルラダー（レベル 1 ～ 5）、組織管理を学ぶ**マネジメントラダー（レベル3～5）**の学習を推進しています。

日本診療放射線技師会
講義室

学術大会や国際大会へ!!

日頃の研究や報告を発表いただく場の提供をしています。国際大会への発表も応援しています。

日頃の成果の発表の場として、新たな学びの場として、そして交流の場として。心地良い刺激は明日からの活力になります。

日本診療放射線技師学術大会

ISRRT世界大会

さまざまな活動を行なっています。

各地の健康イベント・ピンクリボン運動に参加しています。

東日本大震災では、福島第一原子力発電所の事故において、放射線サーベイヤーの派遣等を行い、現在も「放射線被ばく相談窓口」を設置しています。

能登半島地震では被災病院の診療放射線技師派遣も行いました。また、原子力災害に備えた原子力災害医療基礎研修や甲状腺簡易測定研修も行っています。その他にもタスク・シフト / シェアの推進やチーム医療推進協議会の一員として様々な事業に協力して活動しています。

がん検診50%推進全国大会

レントゲン週間イベント